海外決済連携の手引き・PayPal・Stripe

アカウント開設の条件から通貨、返金と係争の運用まで

導入の判断と実行のためのIXC実務資料

2026.09 発行 · 日本語版 · PDF + Excel記入様式

この資料の活用

販売国と契約主体に合った決済経路を確認し、通貨・精算・係争処理の設計判断を記録に残します。

海外販売を準備するサービス企画者、決済開発者、財務・運用担当者

目次

01 顧客の国とアカウントの国を区別します 3

02 通貨と金額の単位を固定します 4

03 承認と入金を別々のフローで管理します 5

04 販売方針に必要なデータを決めます 6

05 係争と返金に対応する準備をします 7

記入と活用

PDFの基準を読み、空欄に実際の条件と未確認の項目を記入します。同じ部門のExcelには資料ごとの記入シートがあります。記入例は、実際の顧客事例や確定した見積もりと区別してお使いください。

出典を明記すれば、社内検討と業務遂行のために引用・改変してご利用いただけます。最新のファイルは www.ixc.co.kr/ja/assets でご確認ください。

顧客の国とアカウントの国を区別します

海外の顧客に販売できる国と、決済アカウントを開設できる国は別の条件です。まず実際の契約主体の所在地と銀行口座、商品の種類から利用の可否を確認します。API開発ができるからといって、本番アカウントが承認されるわけではありません。

海外決済の導入条件表

項目	現在の条件	候補・確認結果	証憑・確認日
販売主体・所在国			
顧客の国・商品の種類			
事業者アカウント・受取口座			
必要な決済手段・サブスクリプション			
契約中の韓国国内PGの海外対応			

> **記入例**
>
> 韓国の事業者が米国の消費者にデジタル商品を販売します。契約中のPGによる海外カード・PayPalの提供方式と、別途の海外決済アカウントを開設できるかどうかを、それぞれ確認します。顧客の国が米国だからといって、米国アカウントの条件を当てはめません。

既存の海外決済で起きている失敗は、国・端末・決済手段ごとの試行と完了、エラーコードに分けて見ます。承認拒否、認証の中断、決済画面からの離脱を同じ失敗としてまとめません。観察された問題を、候補の決済会社が解決できる条件と結び付けます。

通貨と金額の単位を固定します

商品に表示した通貨、実際の請求通貨、口座で受け取る精算通貨をそれぞれ記録します。顧客のカードの通貨が異なる場合もあります。換算が起きる場所と金額の表示、返金処理のルールを決め、開発・運用・財務が同じ数字を使うようにします。

通貨・価格の決定表

決定項目	選んだ通貨・ルール	担当	確認文書
商品の表示通貨・実際の請求通貨			
精算通貨・受取口座			
換算の場所・適用方式			
返金基準・顧客への案内			
APIの金額単位・丸め			

> **記入例：APIの単位**
>
> StripeでUSD 10.99を請求するときの金額の値は、最小通貨単位で表した1099です。JPYのように小数単位がない通貨には、同じ倍率を適用しません。表示用の文字列と送信する金額は別々に検証し、通貨ごとの例外は公式ドキュメントで確認します。

サブスクリプションでは、料金プランと顧客契約の通貨を固定して記録します。価格変更を既存と新規のサブスクリプションにいつ適用するかも決めます。返金の要求額と、顧客のカード明細に載る換算額は区別し、サポートが確認できる根拠を残します。

承認と入金を別々のフローで管理します

注文完了、決済の承認・売上確定、決済会社の残高、銀行入金は、それぞれ別の記録です。承認の応答だけで入金を完了扱いにしません。元取引と返金、係争、手数料、換算による調整を識別子でつなぎ、通貨ごとに突合します。

記録の単位	つなぐ値	確認する状態
注文・決済	注文番号・決済会社の取引ID	承認・失敗・未確認
取消・返金	元取引・返金ID	要求・処理中・完了・失敗
精算残高	取引ID・通貨・調整項目	入金可能・保留
銀行入金	送金ID・金額・通貨	予定・完了・返還

精算・入金の確認表

決済経路・通貨	精算資料・照会場所	受取口座・周期	保留・差異の確認担当

応答を受け取れなかった決済をすぐ別の決済会社へ送り直すと、二重決済のおそれが生じます。まず元取引の状態を照会し、再試行と経路変更の条件を決めます。決済会社のWebhookの到着と社内の注文への反映も、別々の履歴として残します。

> **精算前の確認質問**
>
> どのアカウント・通貨の取引が、どの送金に含まれますか。初回の送金と定期の送金の条件は何ですか。送金が保留されたり銀行から返還されたりした場合、誰がどの資料を確認しますか。

販売方針に必要なデータを決めます

販売国、商品の種類、消費者取引か企業間取引かによって、検討すべき税と証憑の項目が変わります。連携設計は、社内の税務・法務担当が確定した条件を、価格表示とデータフィールド、領収書・返金のフローに反映することから始めます。

販売方針・データの確認表

検討項目	担当が決める内容	画面・データへの反映	確認記録
販売国・商品分類	適用対象と区分の基準		
個人・事業者の顧客	区分・確認する情報		
価格・税額の表示	税込み・税別の表示方式		
領収書・請求書	必須項目・発行担当		
取消・返金の方針	手続き・顧客への案内・証憑		
保管・アクセス	期間・権限・外部送信		

> **記入例**
>
> 事業者向けSaaSの請求画面を準備します。財務担当が事業者情報と請求先住所の必要項目を決め、開発担当がフィールド・検証・保管場所をつなぎ込みます。サブスクリプションの変更時と返金時に、発行する文書がどう変わるかも併せて検討します。

国名だけで、すべての取引の税務処理を決めません。検討が済んだ範囲と、追加確認が必要な国・商品を分けておけば、決済画面と公開する範囲を具体的に決められます。

係争と返金に対応する準備をします

係争は、加盟店に直接届いた返金要求とは別の手続きです。ケースの現在の段階、回答期限、求められている証憑を確認し、担当を割り当てます。顧客に回答を送ったことと、決済会社に必要な証憑を提出したことを区別します。

海外決済の係争処理表

ケース・取引ID	理由・段階・回答期限	証憑・提出担当	状態・次の対応
記入例：注文品未着の問い合わせ	決済会社のケース詳細で確認	注文・提供の履歴・顧客対応記録	担当割り当て後に証憑を提出

公開前の準備	確認する内容	運用記録
注文の証憑	商品・価格・同意の時点	取引IDでつなぐ
提供の証憑	配送・受領・デジタル利用の履歴	提供の時点と資料の保存先
顧客への案内	明細の表示名・返金窓口・ サブスクリプションの案内	使用した文言と対応履歴
権限と連絡	係争の照会・証憑の提出・承認の役割	担当・代理担当・連絡経路

PayPalの係争では、現在のケースが求める証憑と回答期限を詳細情報で確認できます。一律の日数ですべてのケースを処理することはしません。IXCは、海外の決済手段を注文状態と返金・運用のフローに合わせて連携します。

発行・ご利用について

販売国と契約主体、請求・精算通貨、サブスクリプションと返金の条件をもとに、決済経路と運用の準備を一緒に決めます。

IXC Corp.（アイエックスシー）

代表取締役 ナム・ギチョル | 事業者登録番号 109-86-56732
大韓民国 江原特別自治道春川市後石路462番キル7
春川ICTベンチャーセンター4階408号
+82-33-242-0210 | info@ixc.co.kr

www.ixc.co.kr

www.ixc.co.kr/ja/services/payment-gateway

www.ixc.co.kr/ja/assets/overseas-payment-guide

参考資料

Stripe Global Availability：アカウント対応国

https://stripe.com/global

Stripe Supported Currencies：請求・精算通貨と金額の単位

https://docs.stripe.com/currencies

PayPal Use Disputes API：ケースの状態・証憑・回答期限

https://developer.paypal.com/api/disputes/

IXC 決済ゲートウェイ：海外決済連携

https://www.ixc.co.kr/ja/services/payment-gateway